

平成 15年 5月 26日

各 位

株式会社UFJホールディングス
(コート番号 8307)

セントラルリース株式会社の持分法適用関連会社化
およびグループリース事業の統合検討開始について

株式会社UFJホールディングス(社長 杉原武)は、本年6月を目処としてセントラルリース株式会社(社長 西木由喜夫)の株式をUFJ銀行が取得し、発行済株式数の20%強をグループで保有することにより、同社を持分法適用関連会社化することを決定いたしました。

同時に、セントラルリース株式会社と、当社の連結子会社である株式会社UFJビジネスファイナンス(社長 清水庸介)は、別紙のとおり、平成16年4月を目処としたリース事業部門統合の検討を開始することについて合意し、本日、基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

統合後の新会社は、これまで両社が培ってきた業務ノウハウ・営業基盤等の経営資源を融合し、UFJグループの中核リース会社としてソリューション提供力を高めるとともに、経営の効率化を図ることにより、お客様・社会から信頼される業界トップクラスのリース会社を目指してまいります。

なお本件リース事業の統合は、両社の株主の承認と関係当局の認可等を前提としております。

以 上

当行は投資家の皆様、お客さまなどに対するスピーディな情報公開を目的として、ホームページ上にニュースリリースを掲載しております。

なお、本ニュースリリースには証券取引法第166条に定められた重要事実にあたる情報が含まれる可能性があります。重要事実を含むニュースリリースをご覧になられた方が、その重要事実が証券取引法施行令の規定に従い公開された後12時間以内に、UFJホールディングスの株式などの売買等を行なった場合、いわゆるインサイダー取引規制違反として、証券取引法の規定に抵触するおそれがありますのでご注意ください。

平成15年5月26日

各位

セントラルリース株式会社
名古屋市中区栄一丁目24番15号
代表取締役社長 西木 由喜夫
(コード番号 8599 名証第二部)

株式会社UFJビジネスファイナンス
東京都新宿区西新宿一丁目6番1号
代表取締役社長 清水 庸介

セントラルリース(株)と(株)UFJビジネスファイナンスのリース事業部門との統合検討開始について

セントラルリース(株)(以下、CL)と(株)UFJ銀行(以下、UFJ銀行)の連結子会社である(株)UFJビジネスファイナンス(以下、UFJBF)は、CLとUFJBFのリース事業部門との統合の検討を開始することについて本日合意し、基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

今後は、統合に向けて両社で「統合推進委員会」を設置し、具体的な検討を進めてまいります。

なお、この統合に先立ち、CLはUFJ銀行の持分法適用関連会社になる予定ですので、併せてお知らせいたします。

1. 統合の背景と目的

(1) 取引先ニーズへの迅速・的確な対応とリース事業の競争力強化

現在、リース業界は再編の真っ只中にあり、大手とそれ以外に二極化する方向に向かい、規模的にも収益的にもその格差が鮮明になりつつあります。

このような中、CLとUFJBFは、平成13年4月に営業協力に関する協定を締結し連携を図ってまいりましたが、両社の取引先のニーズに迅速・的確に対応するために、この協働体制を更に発展させ、UFJグループの法人向けリース機能を集約、一元化することが必要であるとの認識が、CL、UFJBF、およびUFJ銀行の3者で一致したものであります。

CLおよびUFJBFの双方がこれまで培ってきたリースノウハウ、営業基盤を結集することで、リース事業の競争力を強化し、リース業界の勝ち組企業として更なる発展を目指していくものであります。

(2) 営業基盤とソリューション提供力の強化による収益力の更なる拡大

両社の取引先の重複は少なく、CLの約3万9千社の取引先にUFJBFの取引先約2千社が加わり、統合後は4万社を超える取引先を有することとなります。全国的な営業拠点配置の下、大企業から中堅・中小企業まで幅広い取引先層を有するCLと、東京・大阪において大企業を中

心とした取引層に強みを持つUFJBFとの統合により、営業基盤は厚みを増します。

また、傘下のグループ会社を含め、多様なリース関連サービスを展開してきたCLの機能に、大企業を中心とした顧客ニーズに対応し、仕組案件リースを近時強化してきたUFJBFのソリューション提供力が加わり、営業基盤の強化と相俟って、収益力の更なる拡大を目指す体制が整います。

(3) 経営の効率化

統合により、両社の営業力、商品力、審査能力、そして物件に関するノウハウの共有化が可能となることから、統合後は早期に双方の強みを融合し強力な営業展開を図る一方、重複する部門・機能の合理化・効率化を図り、収益の伴った発展を目指します。

以上、統合によりリース事業の競争力を強化し、豊かなリース関連サービスの提供を通じて、高度化・多様化する取引先のニーズに迅速・的確に対応することで、お客様・社会に貢献し、信頼を得て、リース業界トップクラスの会社として、継続的な発展を目指すものであります。

2. CLがUFJ銀行の持分法適用関連会社となることについて

このように、CLとUFJBFのリース事業を統合することで、UFJグループの法人向けリース事業が一元化され、統合後の新会社はUFJグループの中核リース会社としての位置づけが明確化されます。

こうした背景から、UFJ銀行がCLとの関係をより強固に、また明確にする意味合いから、この度CLへの出資比率を高めることとなり、CLは同行の持分法適用関連会社となるものであります。

今回の統合により、新しいリース会社はUFJグループの中核リース会社として、UFJグループ各社とのグループシナジーを発揮し、ソリューション提供力の向上を通じて、顧客満足度をこれまで以上に高めることで、リース取引の営業基盤を更に拡充できるものと判断しております。

3. 統合の概要

基本合意による統合に関する概要は以下の通りであります。詳細は今後、両社で具体的に検討を進めてまいります。

正式な統合に関する契約は、詳細が固まり次第締結しお知らせするとともに、法定の手続きを実施する予定であります。

(1) 統合期日

平成16年4月1日(予定)

(2) 統合スキーム

UFJBF (分割会社) のリース事業部門を分割し、CL (承継会社) が吸収する、「分社型吸収分割」の形態を採用する予定であります。

(3) 商号

新体制に相応しい商号を、統合実施までに両社で協議してまいります。

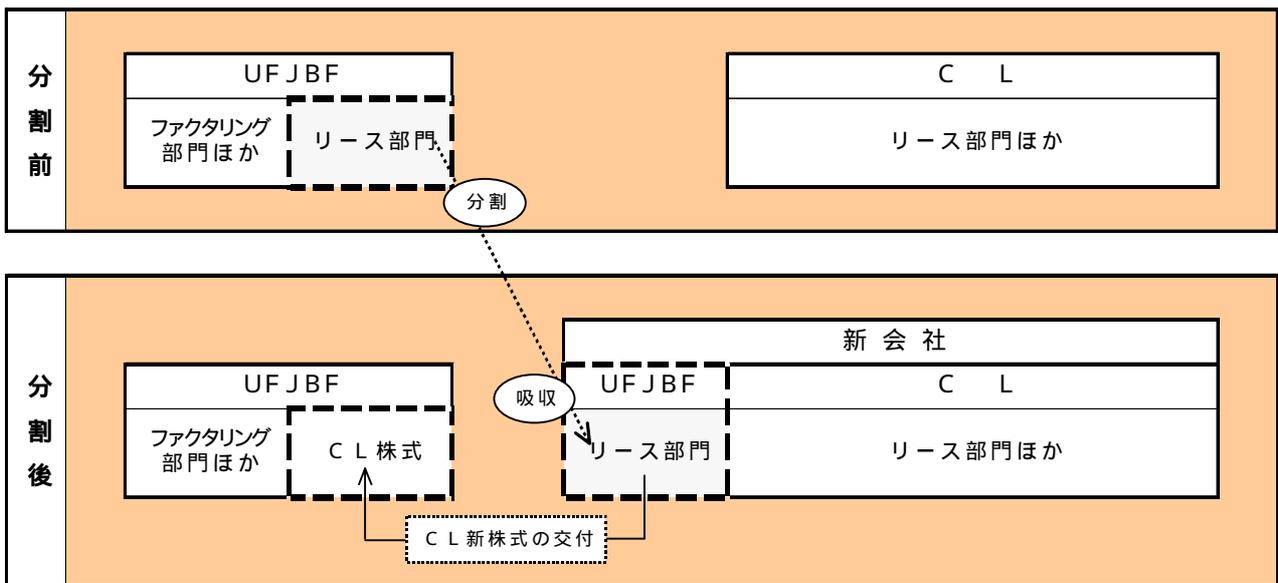
(4) 本店所在地

統合後の本店は、名古屋市におくことを予定しております。

(5) その他

その他統合に関する詳細については、両社協議のうえ決定いたします。

[分社型吸収分割のスキーム]



[両社の概要]

商 号	セントラルリース株式会社		株式会社UFJビジネスファイナンス	
事業内容	リース事業		リース事業、ファクタリング事業	
設立年月日	昭和44年5月		昭和58年10月	
本店所在地	愛知県名古屋市中区栄一丁目24番15号		東京都新宿区西新宿一丁目6番1号	
代表者	代表取締役社長 西木由喜夫		代表取締役社長 清水庸介	
資本金	65億67百万円		11億80百万円	
役員数 ()	589名		全体 278名	リース部門 105名
主要株主	(株)UFJ銀行 名古屋鉄道(株) (株)トーマン (株)中京銀行 東栄(株) ほか		(株)UFJ銀行 (株)UFJキャピタル UFJ信用保証(株) 三信(株) 東洋プロパティ(株)	
国内営業拠点	名古屋、東京、大阪ほか16カ所		東京、名古屋、大阪	
総資産 (2003年3月期)	連結 9,713億円	単体 7,252億円	全体 4,106億円	リース部門 1,844億円
直近期の業績 (2003年3月期)	連結	単体	全体	リース部門
売上高	3,502億円	2,568億円	807億円	760億円
売上総利益	207億円	107億円	57億円	25億円
経常利益	48億円	12億円	12億円	11億円

() 役員数は、2003年4月1日現在(他社出向者含む)

以 上